

今年の夏は猛暑続きで、ちょっぴりバテ気味ですが収穫の楽しみがそれを癒してくれそうです。いつものようにバタバタと慌ただしく過ぎたあらし農園の熱い様子をご覧ください。

ピオーネの早い成長に大慌て



整形後の花穂

— 昨年の不作（小粒、小房）から、昨年は打って変わって豊作（大粒、大房）で味も良く、たくさんの方から好評でした。これでウハウハといきたいところですが、豊作の常、市場の価格が低迷しており残念でした。

今年は開花前の花穂の整形（切込み）の頃より急に花が咲き始めて大慌て、何とか済ませて種無し処理に突入しました。摘粒（粒間引き）の後、仕上げ（再摘粒、玉直し）ではいつもより粒が詰まりすぎて再摘粒に手間取りました、2年前は果軸自体が伸びませんでした、今年果軸は普通に伸びたものの、小果梗があまり伸びなかったのが原因？のようです。こんなに時間のかかる仕上げは初めてでした。着色も早く始まり、収穫も例年より数日早まりそうです。

農業は毎年同じことのくり返しですが、天候の影響なのか、何かの気まぐれなのか、順調な年もあれば、大変な年もあります。今年とはにかくぶどうの成長が早く、時間に追われたシーズンで、ブルーベリーや自然薯にあまり手をかけられませんでした。



仕上げ（再摘粒）

シャインマスカットなどの初なり

数年前に植えたシャインマスカット（緑色）の一本がわずかですが今年初なりを迎えます。新品種として発売前からぶどうの関係者のあいだでは全国的に話題になり、当時はなかなか苗木が入手できなかったものです。

若木のうちは果粒肥大が劣るといわれています。たしかに今



シャインマスカット

年は粒も小さく詰まらないのでスカスカしています。樹勢は強くて、枝は驚く程ビュンビュン伸びています。

もう一本、これも数年前に植えたナチュベアマリーにもほんの少し房がなります。あまり知られていない紅色の希少

品種ですが、どうしてなのかまだ着色していません（8月中旬頃）。両種とも来年以降に期待です。

高圧洗浄機が大活躍

毎年、ぶどうの枝の剪定が終わってから、棚のビニール張りを始めるまで（3月～4月上旬頃）のあいだに時間があるときは、病害虫予防のために粗皮はぎをしています。とくに数年前より粗皮の下に入り込んで枝を食害するクピアカスカシバの幼虫の被害も増えてきたので、全部の樹の処理をしたかったのですが、手作業でなかなか進まず、毎年中途半端に終わっていました。

今年はずいぶん高圧洗浄機を導入しました。専用の回転ノズルを付けて作業すると、粗皮が一瞬に剥がれていきます。レインスーツを着て、芽を飛ばさないように注意しながらの作業



威力あります

で、跳ね返った水や飛び散った樹皮の破片で全身わやです。高圧洗浄機の威力で今年は全て（すでに処理したものや若樹は除く）処理出来ました。数年来の懸案解決！被害も少なくなるかもしれません。